

12.9 (水) ~ 10 (木) 1泊2日 《参加者募集

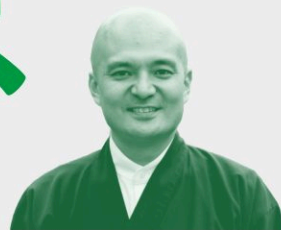
モニターツアー 2026

LOCAL PLAYER
KIMURA YOSHITO



長門湯本温泉、
再生の10年と、
その先へ。

LOCAL PLAYER
OTANI KAZUHIRO



～地域の文化資産を守り、次へつなぐ実践者と語る～

SPECIAL

GUESTS

株式会社うなぎの寝床 創業者・顧問
株式会社白水 代表取締役

白水高広

SHIRAMIZU TAKAHIRO

TSUGI 代表
一般社団法人 SOE 副理事

新山直広

NIIYAMA NAOHIRO

山口県長門市 長門湯本温泉 (宿泊: SOIL Nagatoyumoto)

温泉地と伝統工芸は、これからどんな関係を結べるか。
その関係から、経済と文化が循環する地域をどう創るか。

長門湯本の再生の歩みを題材に、参加者自身が考え、1泊2日現場を見て、議論する機会となります。

■ 体験できること EXPERIENCE

01 再生の現場を、 観光地経営の視点で歩く

民間で再建した公衆浴場「恩湯」、音信川の川床、竹林の階段。再生の意思決定が形になった場所を、まちづくり会社の案内で歩きます。「何を決め、何を選んだか」を当事者の言葉で聞きます。

02 地域の実践者との交流

外湯再建の当事者、旅館の経営者など、再生に関わってきた地域の実践者と直接言葉を交わします。

03 朝の恩湯を貸切で

地域のシンボルである恩湯の一番風呂を貸切にし、600年の湯の歴史と再生の物語に浸かります。

■ スペシャルゲストとともに議論すること DISCUSSION

3つの地域の実践を持ち寄ります。

鯖江 工房を開き、文化を体験する機会をつくった（新山直広氏）

八女 地域文化を商品にし、地域の外へひらいた（白水高広氏）

長門湯本 公共の湯を再生し、温泉街の象徴にした（大谷和弘氏）

DAY

1

ゲストと長門湯本の実践者による議論です。成果の確認ではなく、まだ言葉になっていないものを言葉にする時間です。

DAY

2

前日のインプットも踏まえたテーマを設定し、ディスカッションします。温泉街再生の実践者・スペシャルゲストともにこの地で同じ体験をしたからこそ深まれる内容です。

持ち帰れるもの： 今ある資産をどう活かすか。多様な関係者との関係をどう結び直すか。自社の事業・組織・リーダーシップにも置き換えられる問いと視点を持ち帰っていただきます。

■ 開催概要 OVERVIEW

日程	2026年12月9日（水）14:00~10日（木）14:00
場所	山口県長門市 長門湯本温泉 宿泊：SOIL Nagatoyumoto
集合	長門湯本 現地集合（13:30）予定 ※新山口駅からのアクセス方法は yumotoonsen.com にてご案内します
対象	まちづくりに関心がある人、企業の経営層、人材育成・新規事業のご担当者 ほか
定員	30名
参加費	1室1名利用 55,000円／相部屋（同性）35,000円 ドミトリー 26,000円 ※モニター価格・税込
含まれるもの	プログラム参加費、宿泊（朝食付き）、交流会（夕食）、 恩湯の一番風呂貸切、書籍、フィールドワーク参加・体験
含まれないもの	現地までの交通費、昼食

お申込み



定員 **30名**

※定員に達し次第、締め切ります

上記の二次元バーコードより受付フォームにて申し込みをお願いいたします。

■ 登壇者 SPEAKERS



新山 直広 NIIYAMA NAOHIRO

TSUGI 代表／一般社団法人 SOE 副理事／
クリエイティブディレクター

1985年大阪生まれ。大学卒業後、鯖江市に移住。鯖江市役所を経て2015年 TSUGI LLC を設立。地域に特化したインタウンデザイナーとしてブランディングを行う。産業観光イベント「RENEW」、福井の産品店「SAVAISTORE」の運営など、ものづくり・地域・観光領域を横断しながら創造的な地域づくりを実践。

スペシャルゲスト



白水 高広 SHIRAMIZU TAKAHIRO

株式会社うなぎの寝床 創業者・顧問／株式会社白水 代表取締役

1985年佐賀県生まれ。大学卒業後、2009年より九州ちくご元気計画に参画し、地域産業や観光事業のブランディング、商品開発、流通企画などに従事。2012年に福岡県八女市で地域文化商社うなぎの寝床を創業し、地域文化を現代の経済活動に適合し循環させる仕組みづくりを実践。うなぎの寝床では、九州を中心に全国約300件のものづくり事業者の商品を取り扱う。物販だけでなく、宿やツーリズムなど体験の開発なども行い、地域文化を再解釈して伝えようとしている。

スペシャルゲスト



木村 隼斗 KIMURA YOSHITO

長門湯本温泉まち株式会社 エリアマネージャー

経済産業省に入省し、原子力被災者支援、自動車産業戦略などを担当。2015年から3年間、地方創生人材支援制度により長門市役所に勤務、経済観光部長を務める。霞が関と人口約3万人の市役所、双方での13年半の公務員経験を経て退職。2020年4月、地域の未来にコミットする「長門湯本温泉まち株式会社」のエリアマネージャーに着任。公民連携・地方創生を通じて、地域が前向きなチャレンジの場として次世代へとつながっていくよう、日々取り組んでいる。

長門湯本温泉



大谷 和弘 OTANI KAZUHIRO

大谷山荘 代表取締役社長／長門湯守株式会社 共同代表

1979年山口県生まれ。名湯温泉地の旅館で実務経験を積み、2005年に家業の大谷山荘へ入社。2020年代表取締役社長に就任。2019年山口県温泉協会会長に就任。※22年退任以降、副会長就任。2018年、老朽化した恩湯の再建を担う長門湯守株式会社を設立し共同代表に就任。2023年長門湯本温泉旅館組合理事長に就任。

長門湯本温泉